

Supply infrastructure/
environment-related items
required in social activities



コンドーテック株式会社

決算説明資料

2018年5月29日

1. 業績ハイライト	P. 3
2. 当社の概要	P. 8
3. 主要製・商品	P. 16
4. 2018年3月期の実績と分析	P. 21
5. 2018年3月期の各セグメントの実績と分析	P. 26
6. 成長戦略	P. 35
7. 株主還元	P. 44

1.業績ハイライト

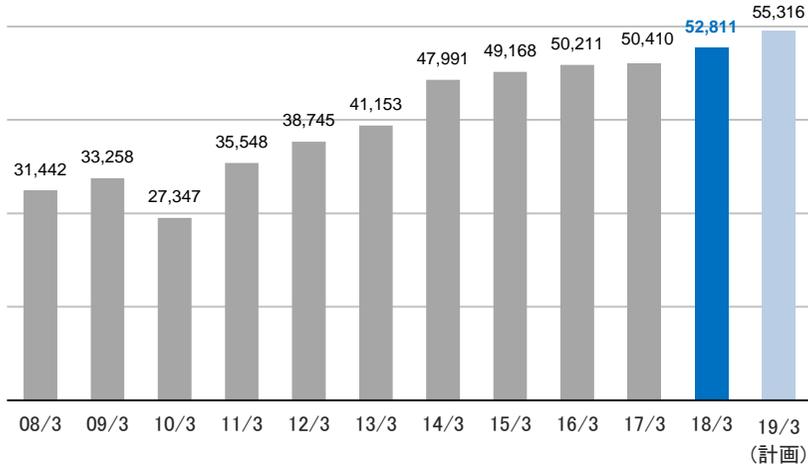
2018年3月期の連結業績結果

売上高において8期連続、経常利益において7期連続、
親会社株主に帰属する当期純利益において6期連続の過去最高益を達成いたしました。

売上高	52,811百万円
営業利益	3,537百万円
経常利益	3,655百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,523百万円
配当	24円

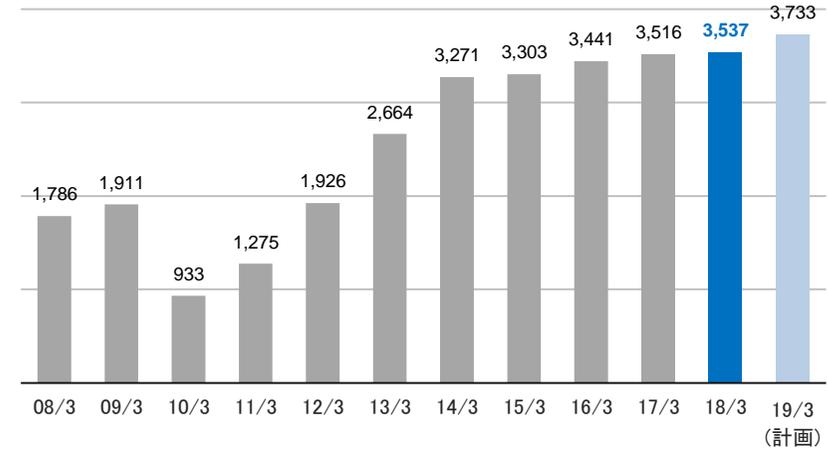
売上高 (百万円)

52,811 百万円



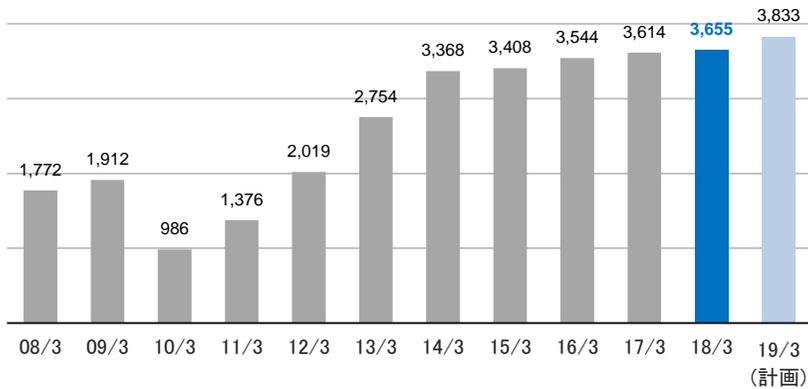
営業利益 (百万円)

3,537 百万円



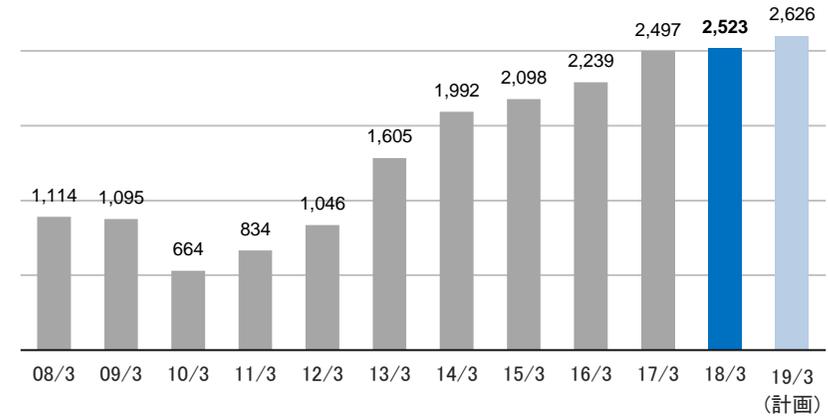
経常利益 (百万円)

3,655 百万円

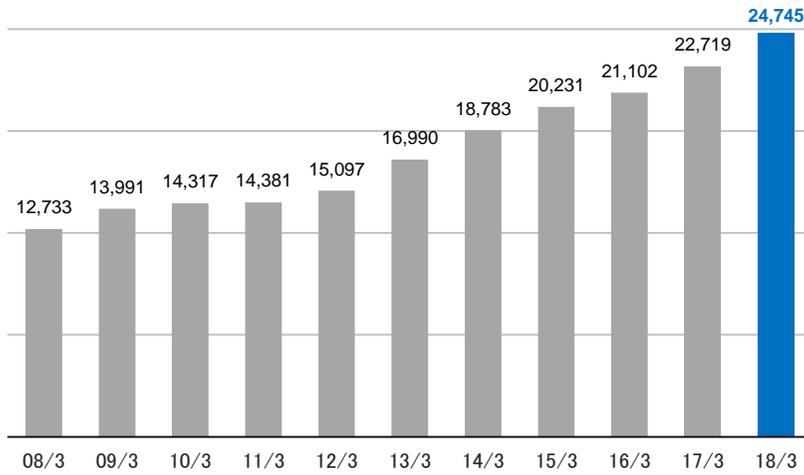


親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)

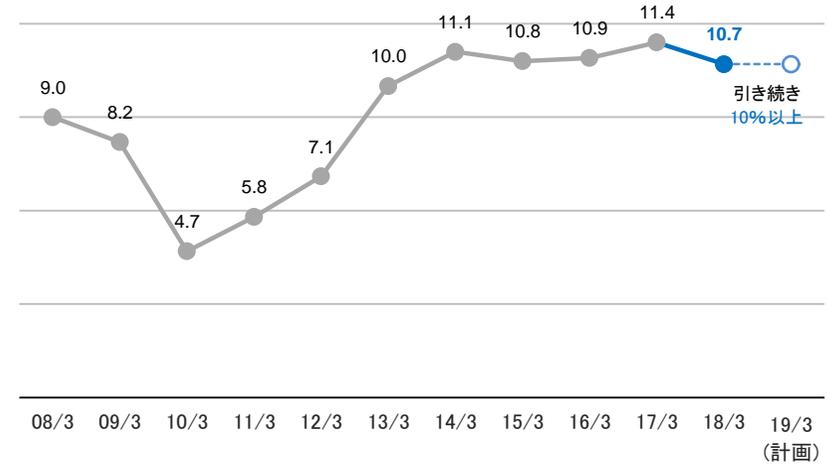
2,523 百万円



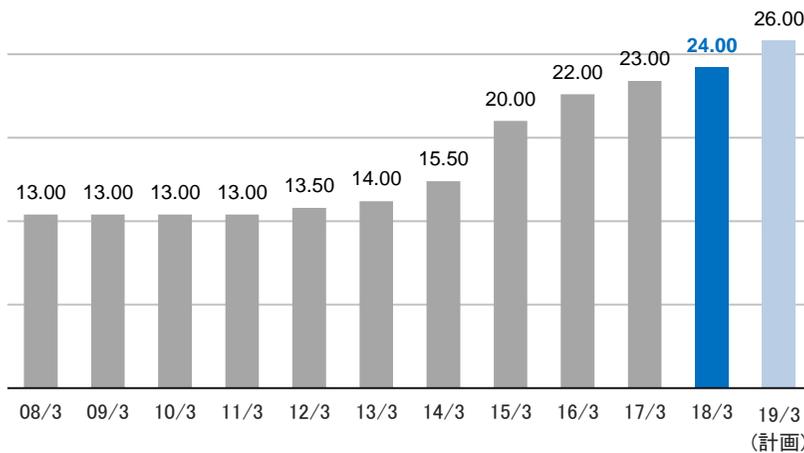
純資産 (百万円) **24,745** 百万円



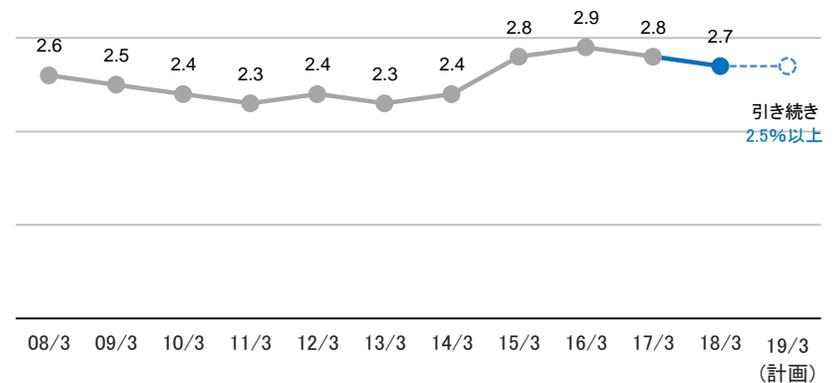
ROE (%) 目標 **10%** 以上



配当金 (円) **24.0** 円



DOE (%) 目標 **2.5%** 以上



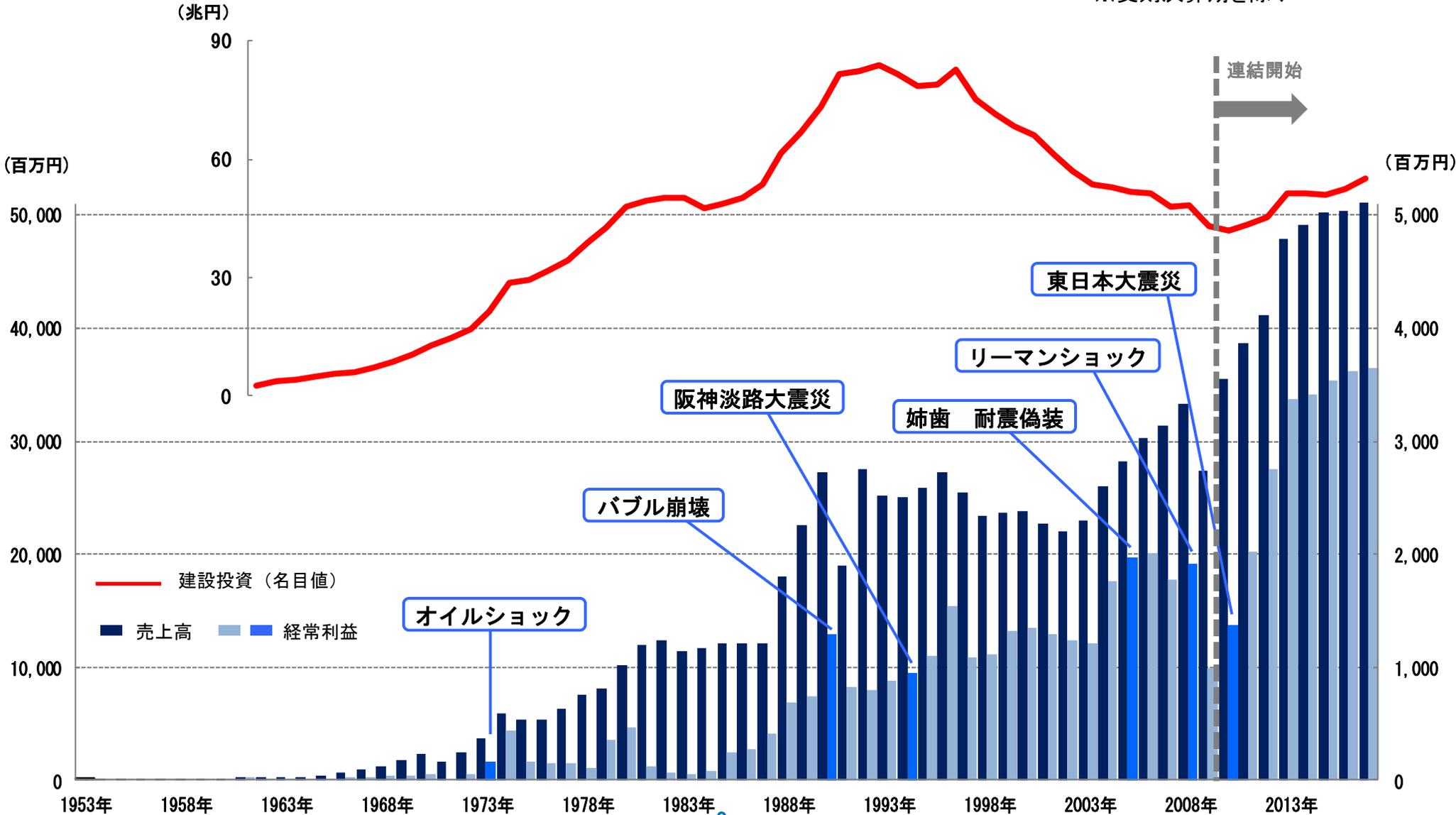
	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3 (計画)
経営成績 (百万円)												
売上高	31,442	33,258	27,347	35,548	38,745	41,153	47,991	49,168	50,211	50,410	52,811	55,316
営業利益	1,786	1,911	933	1,275	1,926	2,664	3,271	3,303	3,441	3,516	3,537	3,733
経常利益	1,772	1,912	986	1,376	2,019	2,754	3,368	3,408	3,544	3,614	3,655	3,833
親会社株主に帰属する当期純利益	1,114	1,095	664	834	1,046	1,605	1,992	2,098	2,239	2,497	2,523	2,626
設備投資額	906	132	632	240	180	566	679	403	842	695	423	-
減価償却費	411	430	380	457	428	390	418	449	405	438	423	-
財政状態 (百万円)												
総資産	23,608	24,667	23,616	26,194	28,403	31,192	34,481	35,186	34,645	36,524	39,313	-
純資産	12,733	13,991	14,317	14,381	15,097	16,990	18,783	20,231	21,102	22,719	24,745	-
有利子負債	-	-	-	900	705	808	806	636	508	501	500	-
キャッシュ・フロー (百万円)												
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405	2,196	1,109	1,219	1,454	2,077	1,887	1,818	1,945	2,737	2,429	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 642	△ 391	△ 1,437	△ 320	△ 1,511	△ 494	△ 660	828	△ 829	△ 646	△ 506	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 326	△ 115	△ 336	△ 736	△ 550	426	△ 389	△ 699	△ 1,092	△ 1,032	△ 703	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,208	3,898	3,234	3,396	2,790	4,798	5,636	7,626	7,594	8,660	9,893	-
1株当たり情報 (円) *												
1株当たり当期純利益	44.36	42.88	25.62	32.19	40.36	60.77	72.13	75.91	81.01	93.29	94.25	98.14
1株当たり純資産	506.86	539.73	552.30	554.79	582.41	615.12	679.27	730.49	774.18	846.59	922.62	-
1株当たり配当額	13.00	13.00	13.00	13.00	13.50	14.00	15.50	20.00	22.00	23.00	24.00	26.00
財務指標												
売上高営業利益率 (%)	5.7	5.7	3.4	3.6	5.0	6.5	6.8	6.7	6.9	7.0	6.7	6.9
ROE (%)	9.0	8.2	4.7	5.8	7.1	10.0	11.1	10.8	10.9	11.4	10.7	10%以上
自己資本比率 (%)	53.9	56.7	60.6	54.9	53.2	54.5	54.4	57.4	60.8	62.1	62.8	-
DOE (%)	2.6	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3	2.4	2.8	2.9	2.8	2.7	2.5%以上
株価指標												
期末株価終値 (円)	306	285	308	353	625	606	718	786	834	933	939	-
株価収益率 (倍)	6.9	6.6	12.0	11.0	15.5	10.0	10.0	10.4	10.3	10.0	10.0	-

* 2012年1月1日付の株式分割(1株を2株に分割)については、2008年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し表示しております。

2. 当社の概要

1953年設立以来、経常利益ベースでの赤字は、一度もありません。

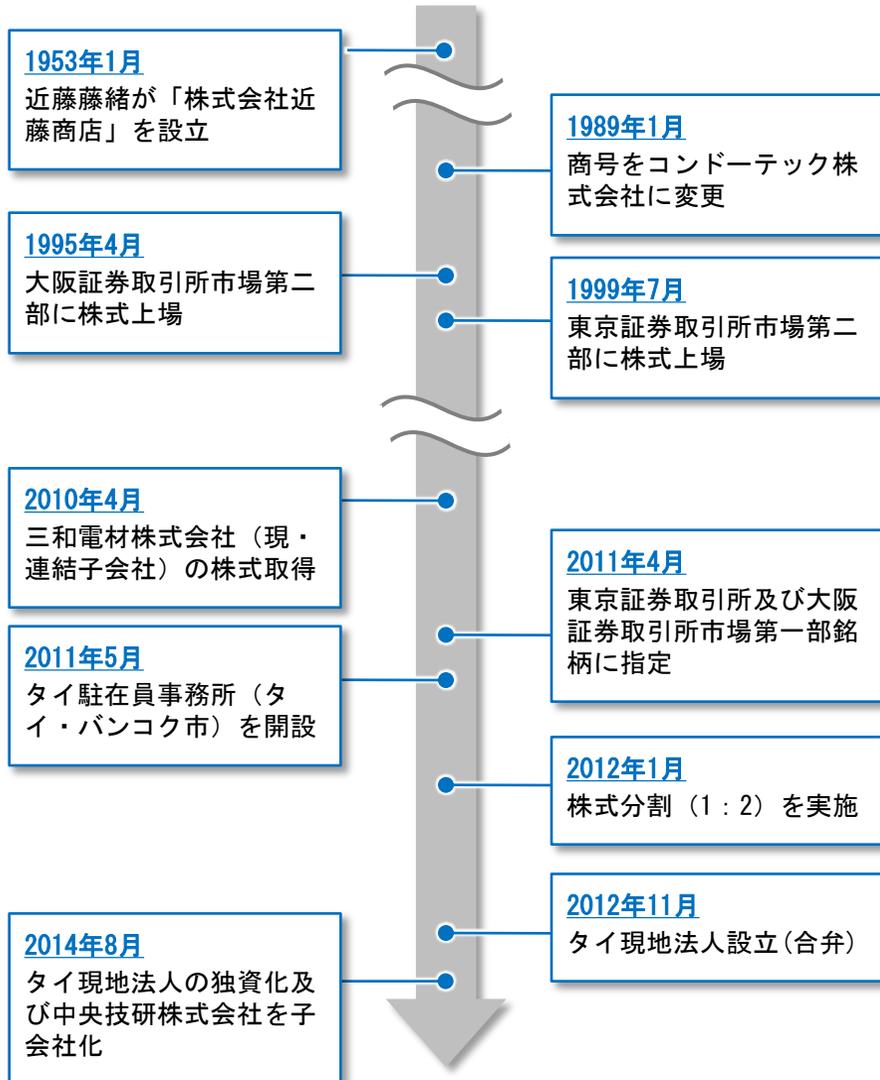
※変則決算期を除く



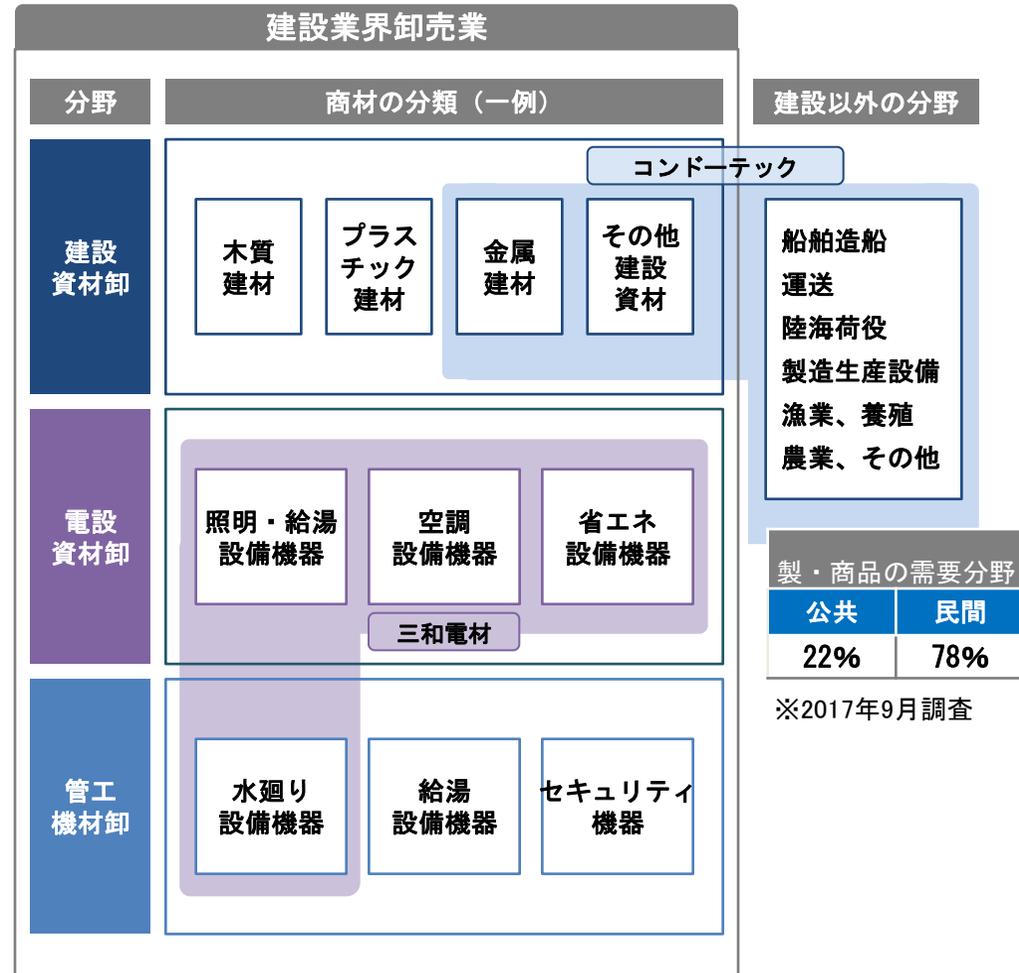
当社の概要

商号	コンドーテック株式会社 (KONDOTEC INC.)
グループ会社	三和電材株式会社、KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.、中央技研株式会社
設立	1953年 1月
代表取締役社長	近藤 勝彦
本社	本社：大阪市西区境川二丁目2番90号 東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号 (注) 2013年7月1日より「東京本社」を設置し、大阪との二本社制となっております。
従業員	645名 (単体) 789名 (連結) (2018年3月末現在)
資本金	26億6,648万5千円
上場区分	東証1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> □ 金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入販売 □ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入販売 □ 電気工事業者や家電小売店向けに、電設資材を仕入販売
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"> □ 製品 ターンバックル、ブレース、足場吊りチェーン、ねじ製品、アンカーボルト、建設資材、機械装置他 □ 商品 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、照明器具、分電盤、空調機器、エコ商品他

会社設立沿革



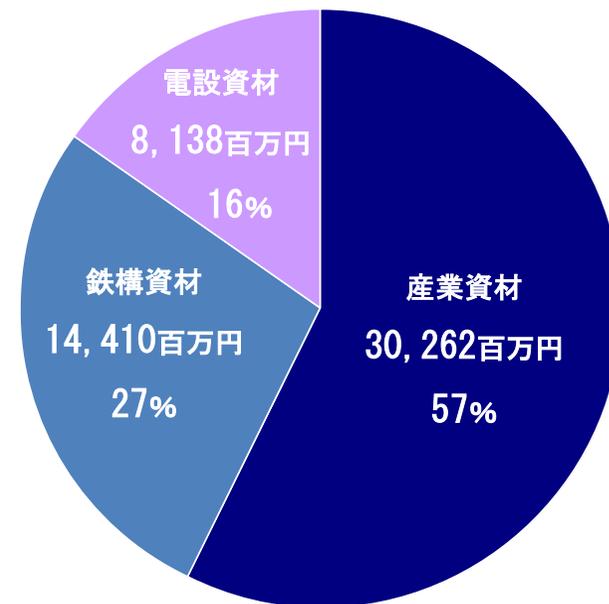
事業ドメイン



事業別売上構成

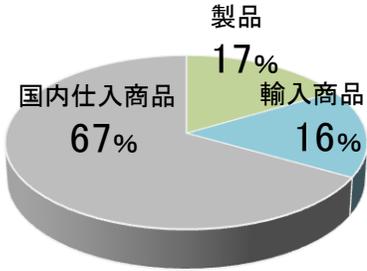
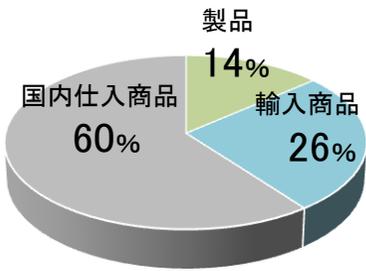
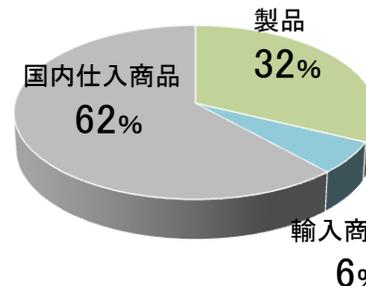
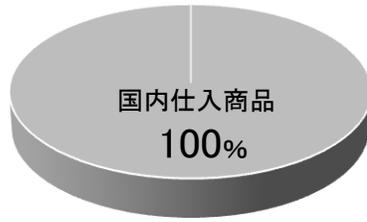
セグメント区分	主な販売先	主な製商品
産業資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 金物屋 □ 問屋 □ ホームセンター等 	<ul style="list-style-type: none"> □ ターンバックル □ シャックル □ 足場吊りチェーン □ フック、クリップ □ 各種鋏螺（ねじ、釘） □ コンテナバッグ □ ブルーシート □ 機械装置 他
鉄構資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 鉄骨加工業者 	<ul style="list-style-type: none"> □ ターンバックルブレース □ アンカーボルト □ ハイテンションボルト □ 自立コンピース □ コンデッキバー □ セラミックスタブ 他
電設資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 電気工事業者 □ 家電小売店 	<ul style="list-style-type: none"> □ 空調機器 （エアコン、換気扇、ダクトファン） □ 照明器具 （LED照明、住宅照明器具他） □ エコ商品 （太陽光発電、エコキュート） □ 電線、分電盤、制御盤、各種センサー他

セグメント別売上高（2018年3月期）



単体の売上高は、全体の**84%**を占めております。

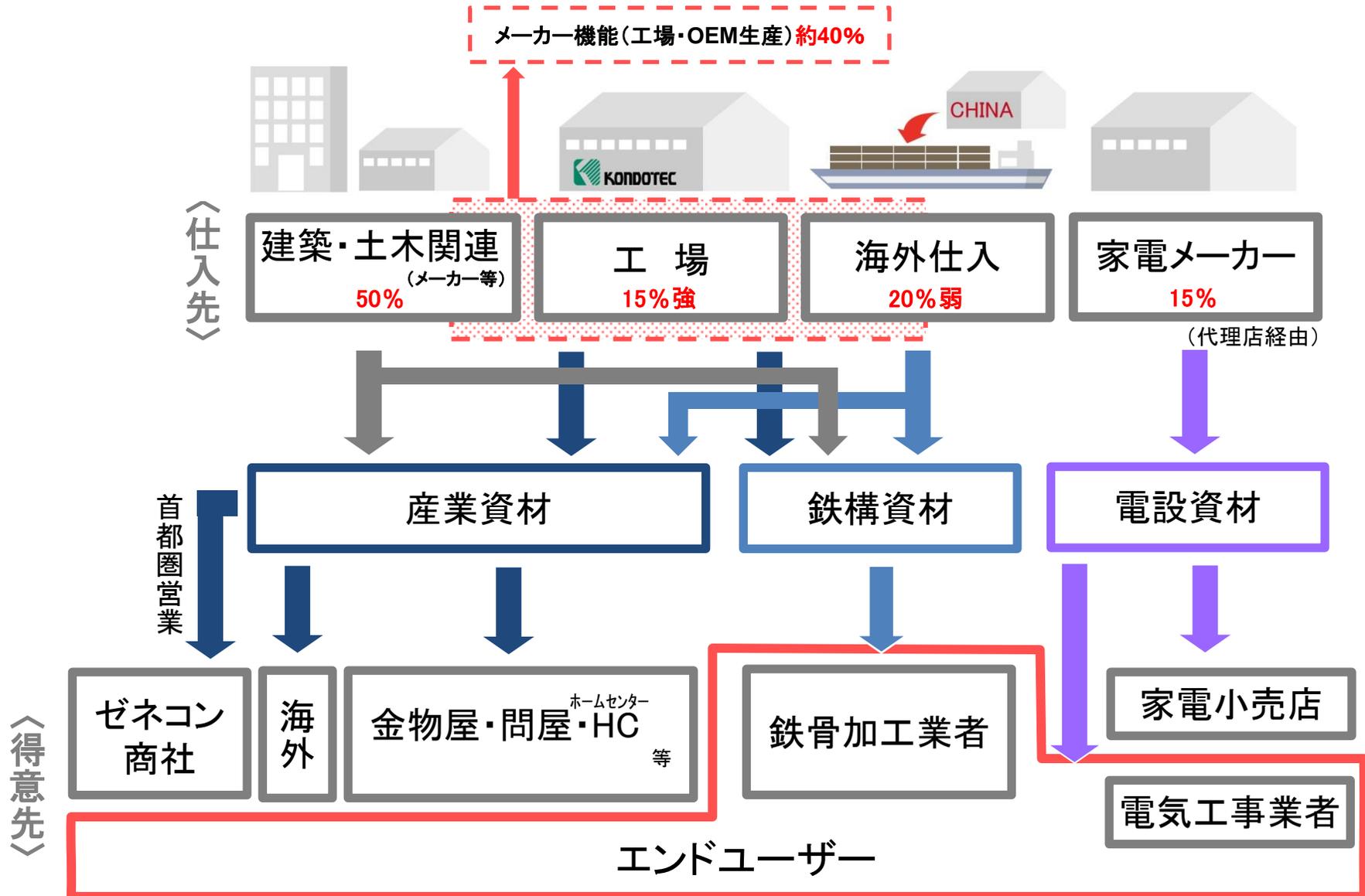
(2018年3月時点)

		連結	産業資材	鉄構資材	電設資材
売上高		52,811百万円	30,262百万円	14,410百万円	8,138百万円
		 <p>国内仕入商品 67% 製品 17% 輸入商品 16%</p>	 <p>国内仕入商品 60% 製品 14% 輸入商品 26%</p>	 <p>国内仕入商品 62% 製品 32% 輸入商品 6%</p>	 <p>国内仕入商品 100%</p>
営業拠点数		61拠点	30拠点	16拠点	15拠点
アイテム数		約50,000点	約40,000点		約10,000点
従業員数		789人	237人	100人	127人
販売先数		約24,500社	約15,000社	約5,000社	約4,500社
開新 拓規	件数 (注)	2,822件	1,728件	693件	401件
	売上高 (注)	2,842百万円	1,289百万円	890百万円	662百万円

※円グラフにタイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。

※ 売上高を除いた項目には、タイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。

(注) 当期および前期の合計。



(2017年3月時点)

主要商材の市場規模と当社シェア

ブレース
市場規模
約100億円
32.4%

型枠関連資材
市場規模
約1,400億円
1.2%

Zマーク金物
市場規模
約450億円
3.1%

アンカーボルト
市場規模
約140億円
15.8%

ハイテンション
ボルト
市場規模
約180億円
13.1%

溶接ワイヤ
市場規模
約110億円
7.4%

コンテナバッグ等
(数量ベース)
4.1%

その他、ターンバックル、
足場吊りチェーン、シャックル、
ワイヤロープ、ネット・シート類など、
多くの商材を販売しております。

3. 主要製・商品

取扱いアイテムは5万点。時代の変化・ニーズに合わせ、さまざまな業界に供給しています。



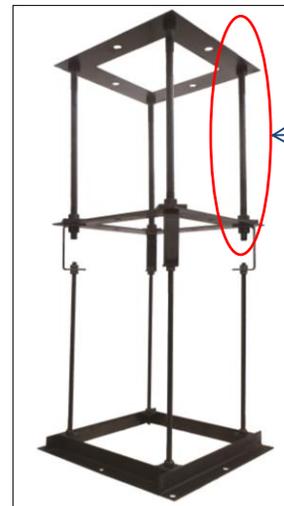
筋交いの「ターンバックルブレース」を取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の倒壊を回避する役割があります。



アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材です。基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。



施工後



アンカーボルト



アンカーフレーム (コンベース・エコ)

当社のコンテナバッグは、がれき処理・除染作業でも使用されています。重機によって、がれき・除染土がコンテナバッグに収納され、仮置き場へ搬入されます。



4. 2018年3月期の実績と分析

前期比

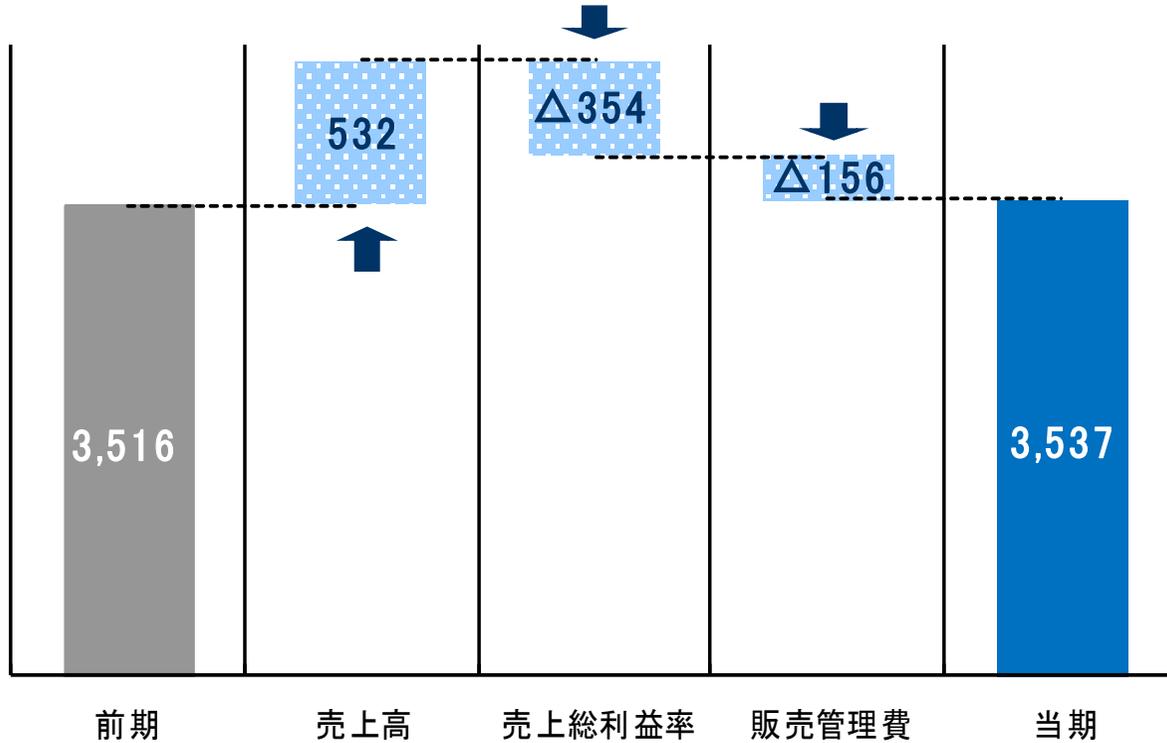
(単位:百万円)

	前期 (2017年3月期)	当期 (2018年3月期)	前期比	
			金額	増減率
売上高	50,410	52,811	+2,400	+4.8%
売上総利益	11,180	11,358	+178	+1.6%
販売管理費	7,664	7,820	+156	+2.0%
営業利益	3,516	3,537	+21	+0.6%
経常利益	3,614	3,655	+40	+1.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,497	2,523	+25	+1.0%

前期比

(単位：百万円)

売上総利益率の四半期別推移



売上総利益率 22.2%→21.5%

販売管理費 運賃荷造費 +111百万円、給与 +55百万円

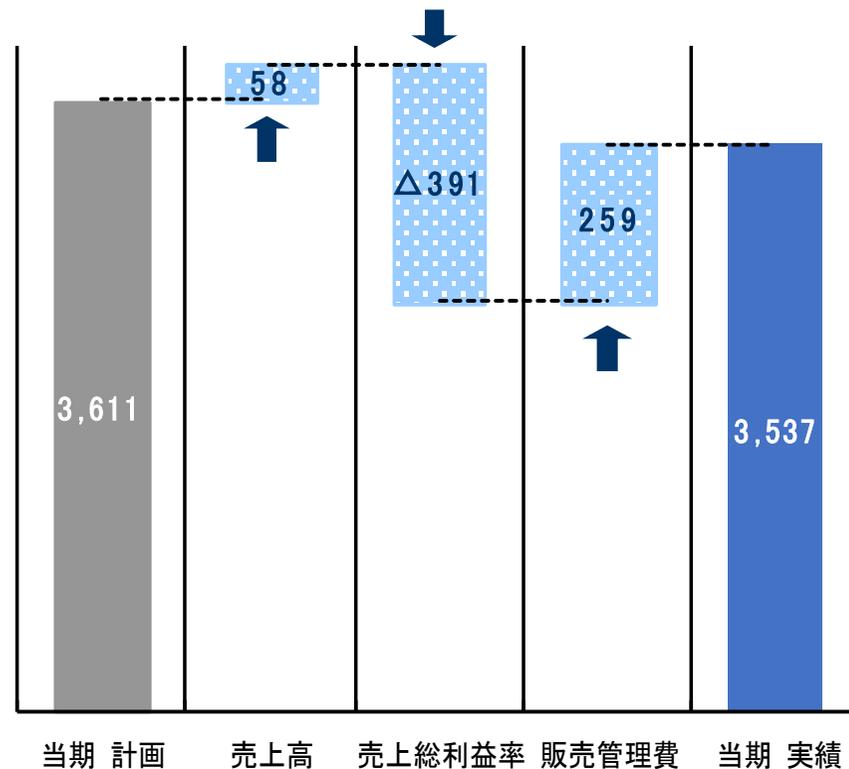
計画比

(単位:百万円)

	当期 計画 (2018年3月期)	当期 実績 (2018年3月期)	計画比	
			金額	%
売上高	52,550	52,811	+261	+0.5
売上総利益	11,692	11,358	△333	△2.9
販売管理費	8,080	7,820	△259	△3.2
営業利益	3,611	3,537	△74	△2.1
経常利益	3,719	3,655	△64	△1.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,524	2,523	△1	△0.0

営業利益 計画比差異分析(連結)

(単位:百万円)



売上総利益 22.2%→21.5%

(単位:百万円)

	前期末	当期末	増減
資産の部			
流動資産	26,191	28,851	+2,659
固定資産	10,333	10,461	+128
資産合計	36,524	39,313	+2,788
負債の部			
流動負債	12,329	13,118	+788
固定負債	1,475	1,449	△26
負債合計	13,805	14,567	+762
純資産の部			
株主資本	24,092	25,941	+1,848
その他の包括利益累計額	△1,423	△1,248	+175
純資産合計	22,719	24,745	+2,026
負債・純資産合計	36,524	39,313	+2,788

増減要因

資産の部

【流動資産】

- ・現預金…+1,232百万円
- ・受取手形及び売掛金…+641百万円
- ・電子記録債権…+380百万円
- ・棚卸資産…+391百万円

負債の部

【流動負債】

- ・支払手形及び買掛金…△69百万円
- ・電子記録債務…+807百万円

純資産の部

【株主資本】

- ・繰越利益剰余金…+1,895百万円
- 親会社株主に帰属する当期純利益により2,523百万円増加、
配当により630百万円減少

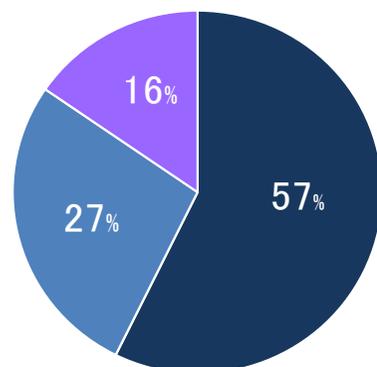
5. 2018年3月期の各セグメントの実績と分析

(単位：百万円)

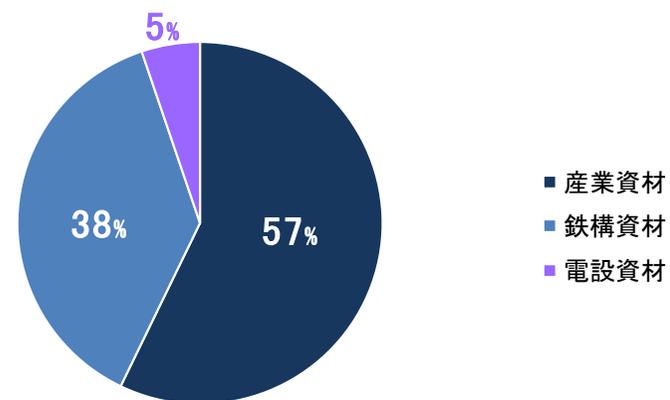
	売上高			セグメント利益又は損失		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
産業資材	29,833	30,262	+1.4%	2,261	2,030	△10.2%
鉄構資材	12,432	14,410	+15.9%	1,052	1,338	+27.1%
電設資材	8,144	8,138	△0.1%	202	183	△9.5%
調整	—	—	—	△1	△14	—
計	50,410	52,811	+4.8%	3,516	3,537	+0.6%

※セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別売上割合



セグメント別利益割合

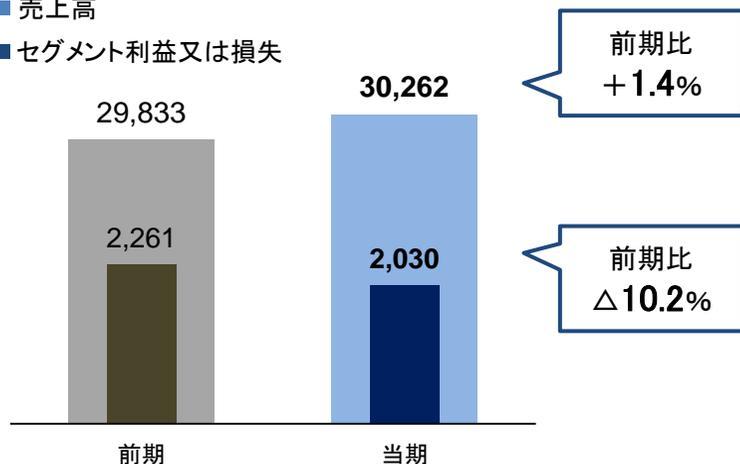


- 産業資材
- 鉄構資材
- 電設資材

売上高・セグメント利益又は損失推移

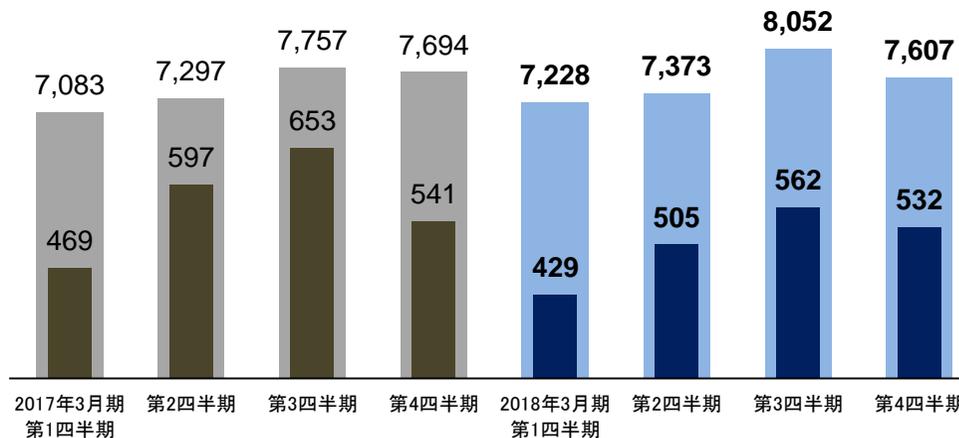
■ 前期比較

■ 売上高
■ セグメント利益又は損失



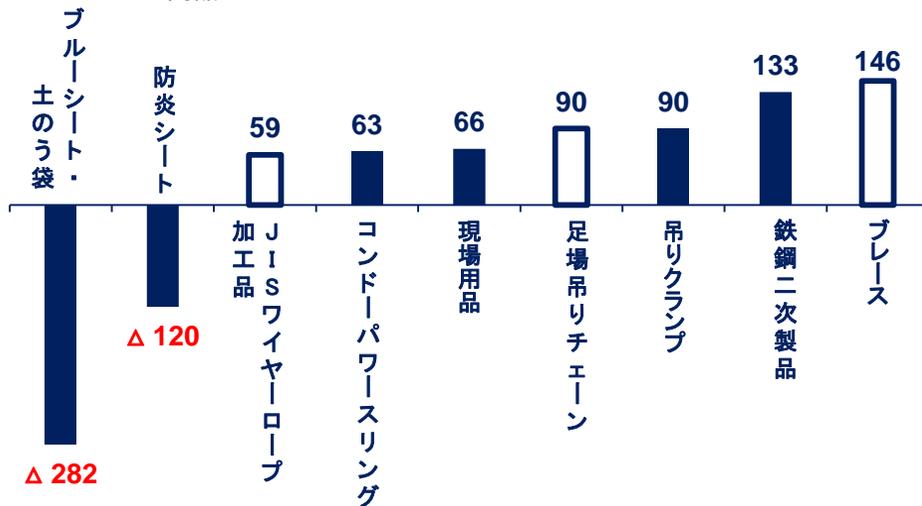
■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前期比較

□ 製品 ■ 商品



売上高増減要因

前期と比較して、約**430**百万円の増加。

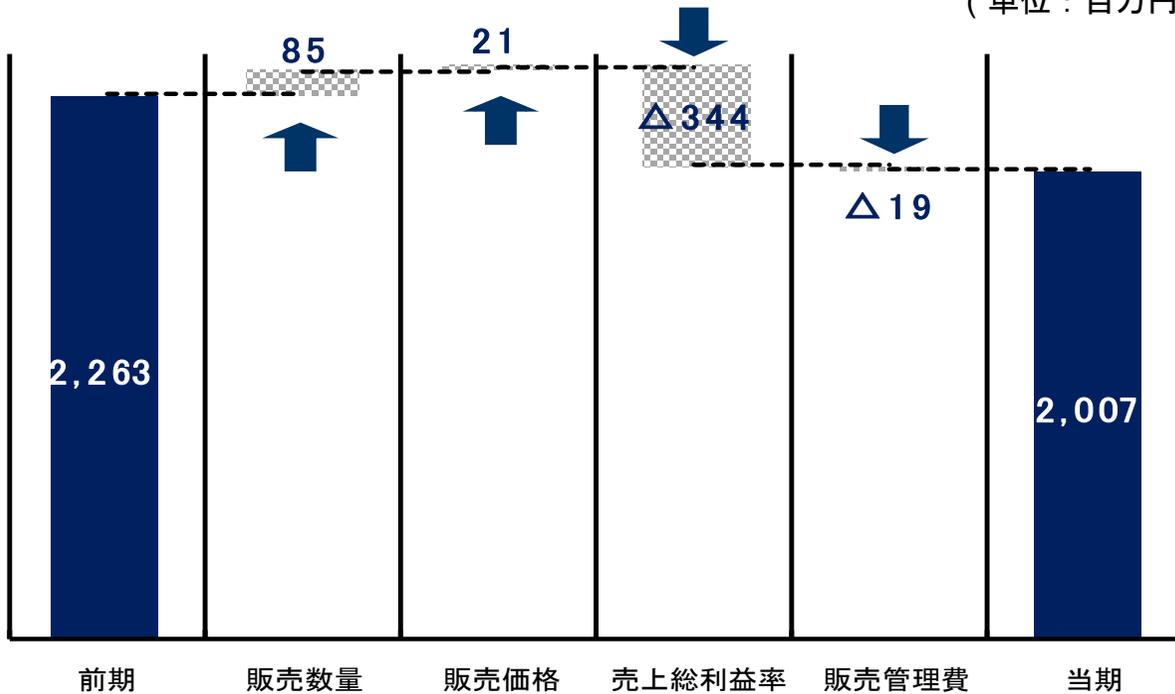
国内建設市場は、民間・公共工事ともに堅調に推移し、建築・土木関連商材であるブレース、鉄鋼二次製品、吊りクランプ、足場吊りチェーン、現場用品などが堅調に推移した。

□ 製品 約+240百万円
- ブレース / +146百万円 需要の増加による受注増

□ 商品 約+190百万円
- 鉄鋼二次製品 / +133百万円 受注好調による売上増

セグメント利益又は損失 差異分析

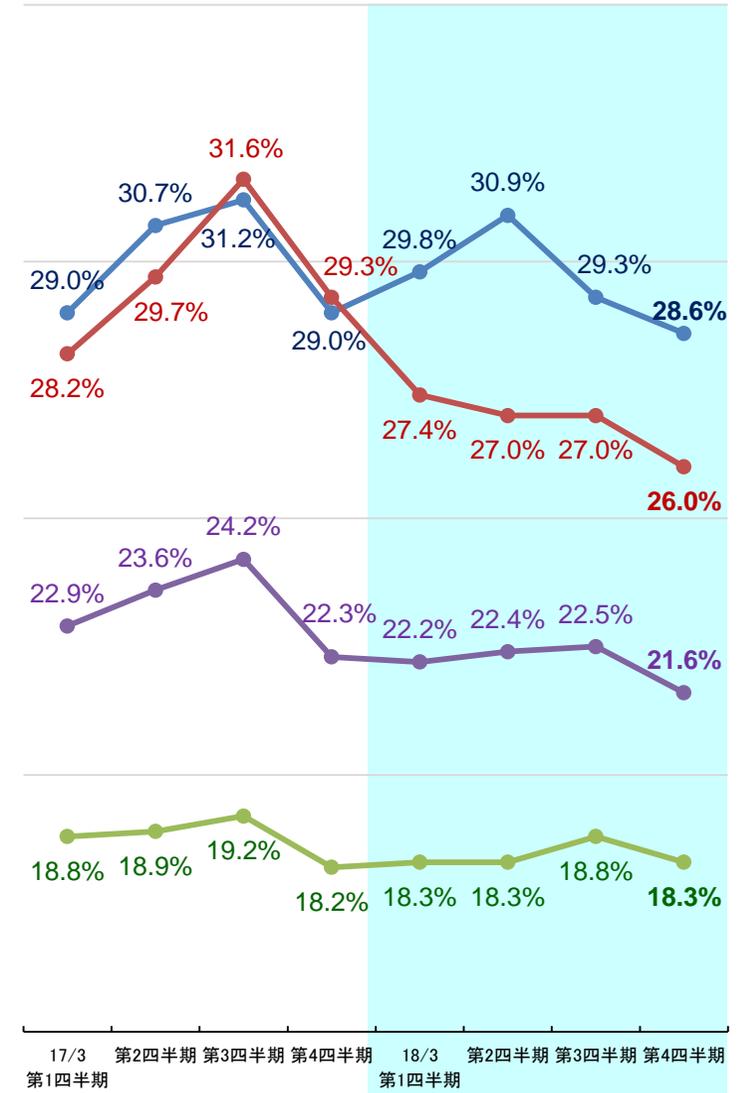
(単位：百万円)



販売数量	製品 +67百万円、商品 +17百万円
販売価格	製品 +8百万円、商品 +13百万円
売上総利益率	製品 30.0% → 29.7% 商品 22.3% → 21.0% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +37百万円

売上総利益率の四半期別推移

● 製品 ● 輸入品
● 国内仕入商品 ● 製商品合計

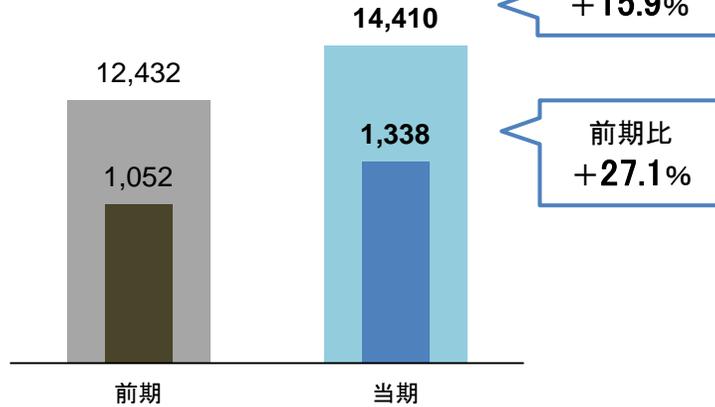


※差異分析及び四半期別利益率推移には、タイ現地法人および中央技研(株)は加味されておりません。

売上高・セグメント利益又は損失推移

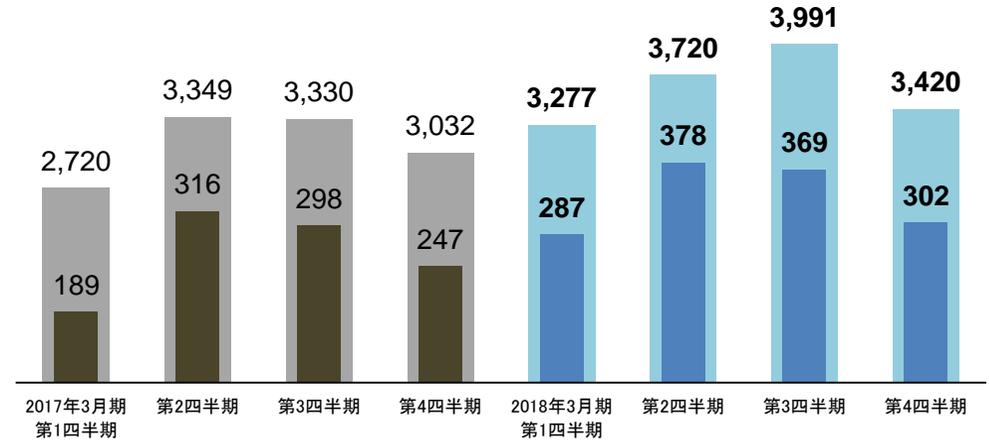
■ 前期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



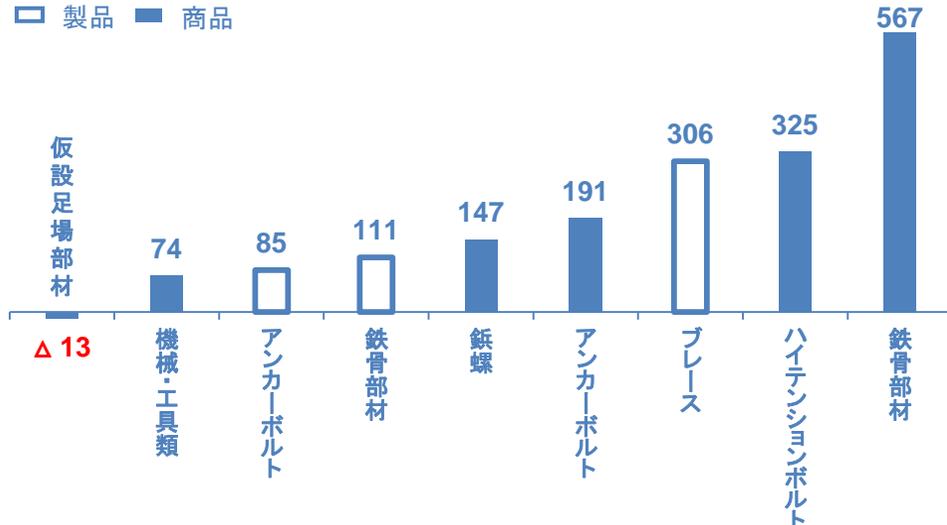
■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前期比較

- 製品
- 商品



売上高増減要因

前期と比較して、約**1,980**百万円の増加。

鉄骨需要は、インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の需要の増加により、主要商材である鉄骨部材、ハイテンションボルト、ブレース、アンカーボルトなどが堅調に推移した。

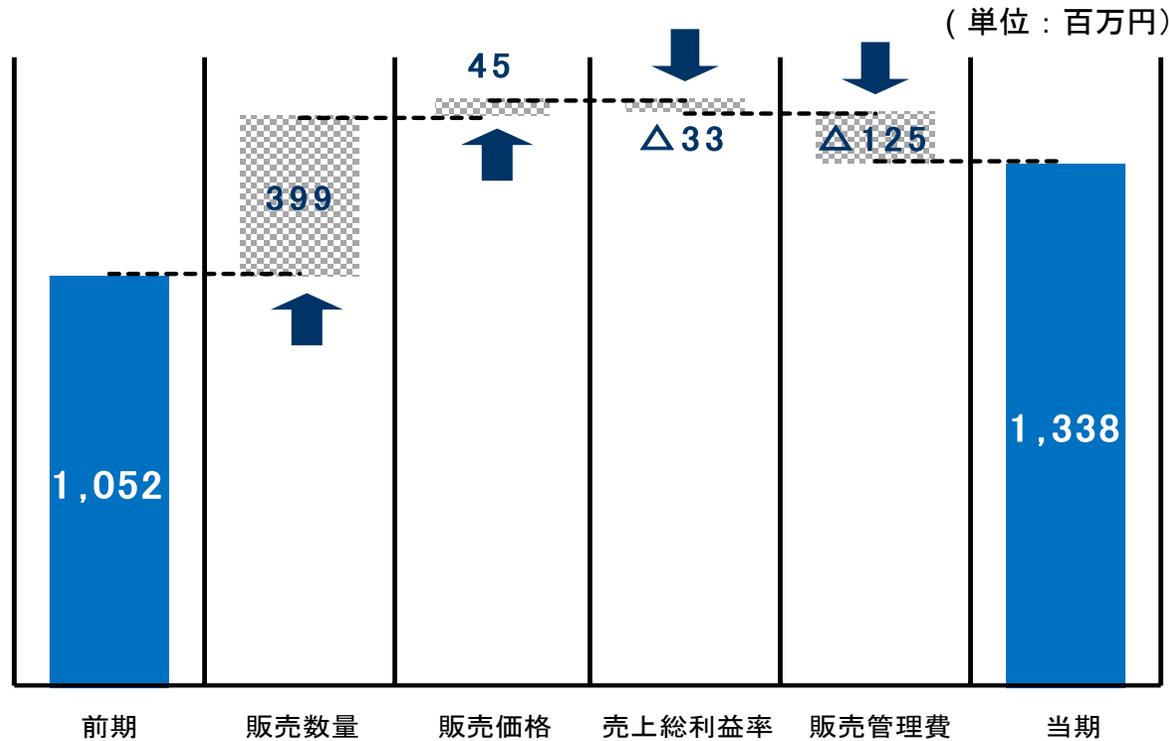
□ 製品 約+510百万円

－ ブレース / +306百万円 店舗・物流倉庫・工場など大型新築工事の需要増

□ 商品 約+1,470百万円

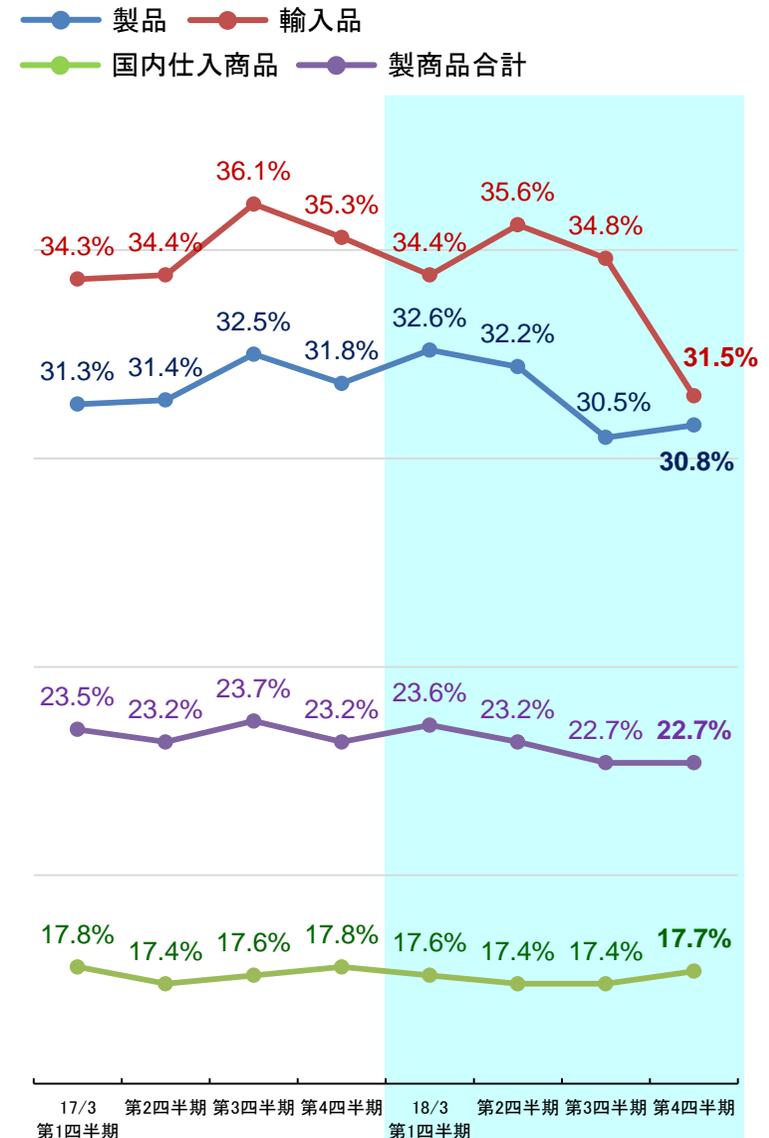
－ 鉄骨部材 / +567百万円 認定柱脚工法品および加工品の受注増

セグメント利益又は損失 差異分析



販売数量	製品 +118百万円、商品 +280百万円
販売価格	製品 +43百万円、商品 +1百万円
売上総利益率	製品 31.7% → 31.5% 商品 19.3% → 19.1% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +74百万円、給与 +19百万円、賞与 +11百万円

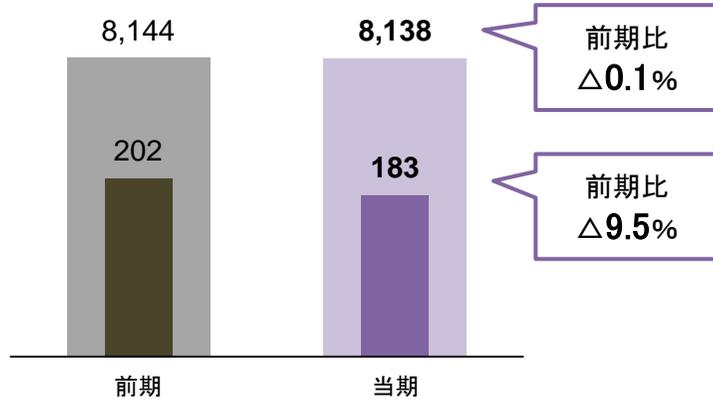
売上総利益率の四半期別推移



売上高・セグメント利益又は損失推移

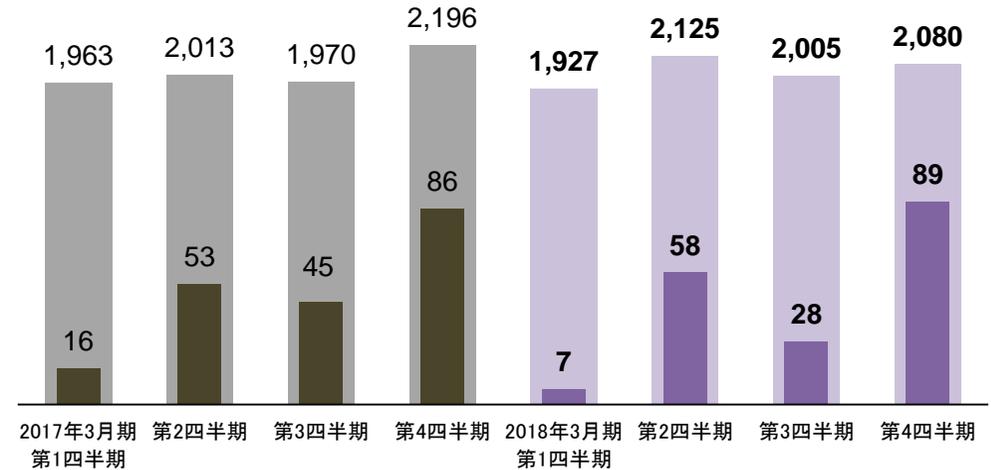
■ 前期比較

■ 売上高
■ セグメント利益又は損失

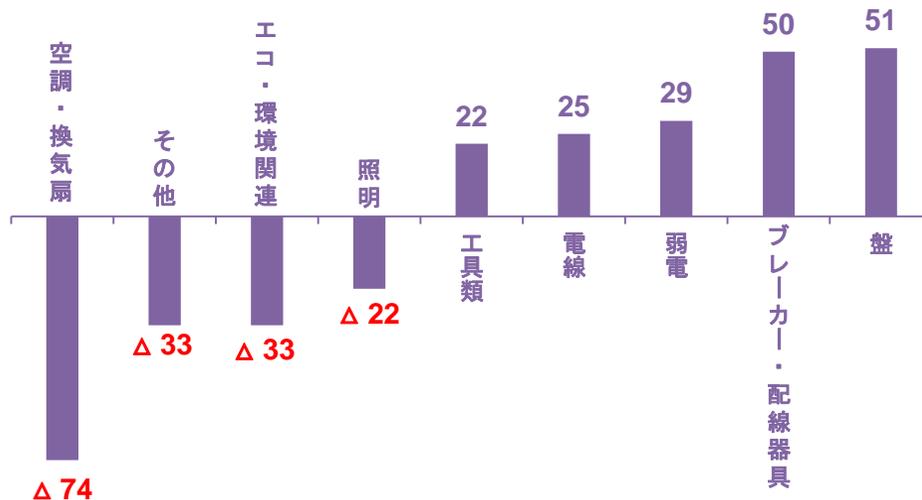


■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前期比較



売上高増減要因

前期と比較して、約**6**百万円の減少。

□ 盤 +51百万円

工場物件・太陽光発電所向けキュービクル等の売上増

□ ブレーカー・配線器具 +50百万円

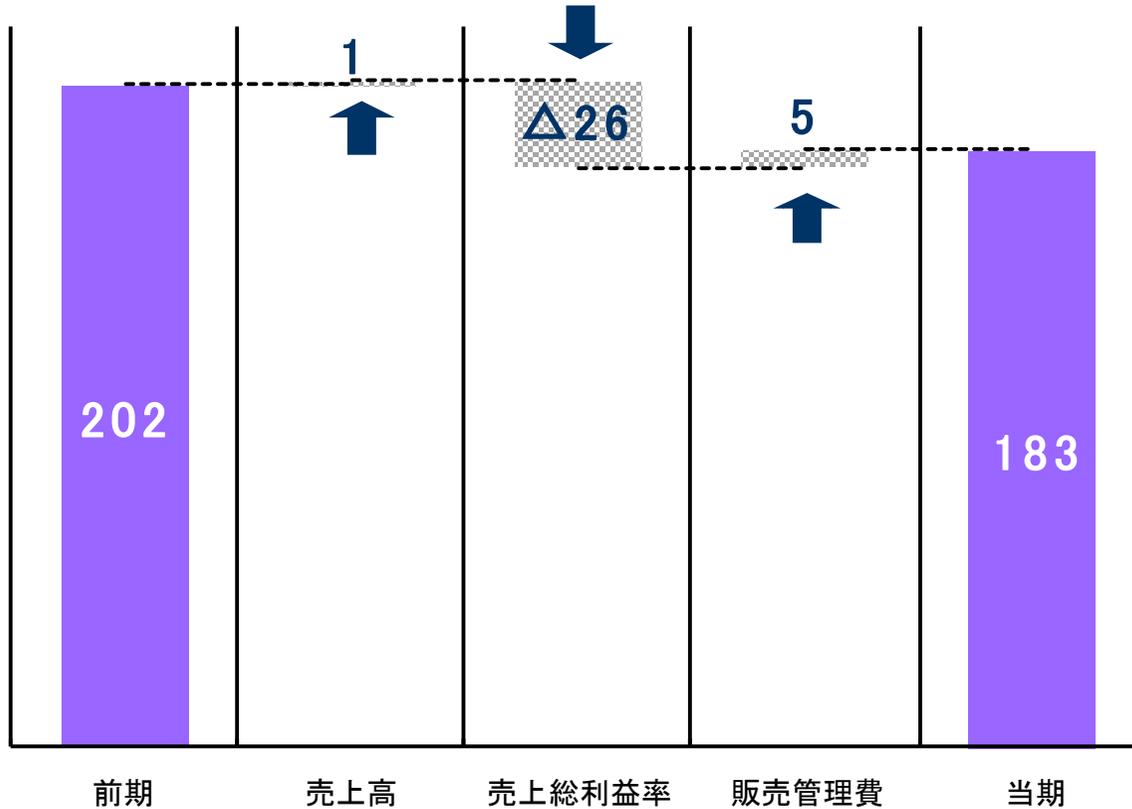
工場・マンション・商業施設等民間建築物の増加による売上増

□ 空調・換気扇 $\Delta 74$ 百万円

大口空調設備物件の減少による売上減

セグメント利益又は損失 差異分析

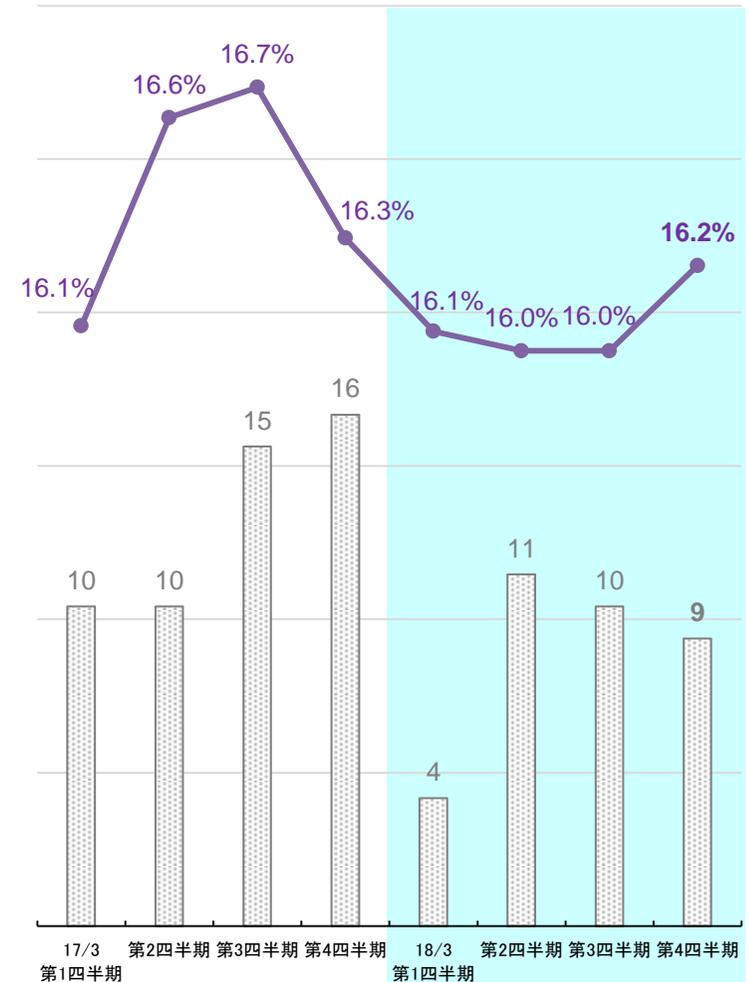
(単位:百万円)



売上総利益率	16.4%→16.1%
販売管理費	給料 +10百万円、販売促進費 +4百万円 募集費 Δ4百万円、消耗品費 Δ3百万円

売上総利益率の四半期別推移

■ 物件数※(単位:件) ● 売上総利益率



※電気工事屋に対する5百万円超の物件を対象に集計

- 当社は、ROEを主要な経営指標として取り上げ、**ROE10%以上**を目標としております。
- 2018年3月期のROEは**10.7%**となり、2019年3月期におきましても引き続き**ROE10%以上**を目標としてまいります。

(単位:百万円)

	当期 実績 (2018年3月期)	計画 (2019年3月期)	当期比	
			金額	%
売上高	52,811	55,316	+2,505	+4.7
売上総利益	11,358	12,089	+731	+6.4
販売管理費	7,820	8,356	+535	+6.8
営業利益	3,537	3,733	+195	+5.5
経常利益	3,655	3,833	+178	+4.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,523	2,626	+103	+4.1

6. 成長戦略

2017年度建設投資見通し

- 政府投資・・・22兆2,300億円(前年度比5.4%増)
- 民間投資・・・32兆7,300億円(前年度比4.3%増)

※国土交通省、2017年6月発表『平成29年度 建設投資見通し』より



オーガニック成長

①4つの成長戦略

- 販売基盤の拡充
- 新商材の提供
- 売り方の工夫
- 販売ルートの開拓

②自然災害への対応、インフラ整備

③拠点展開

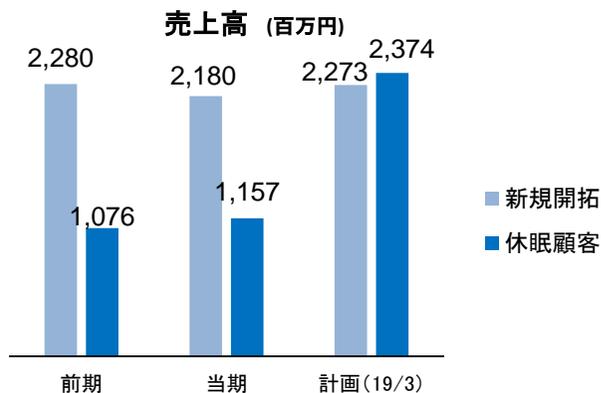
ノンコア事業成長

①海外への取り組み

②M&A戦略（企業の買収及び業務提携）

販売基盤の拡充

- 営業担当者が毎月1件の**新規販売先を開拓**
- 営業担当者が毎年10社の**休眠顧客の掘り起し**を実施



新商材の提供

- 営業部門、製造部門合同の新商材委員会を開催し、新商材開発に積極的に取り組んでおります。

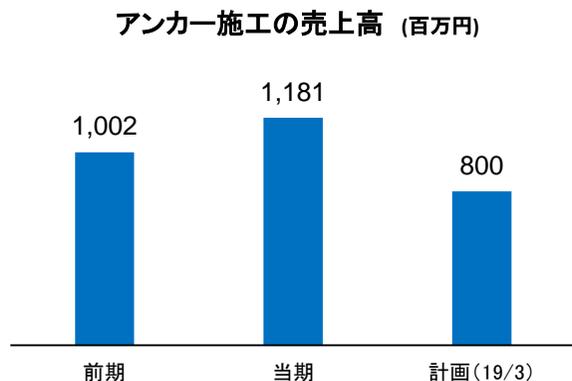
売上高 (百万円)

	前期	当期
角フックボルト	129	114
コンベース・エコ	120	127
イエローポイントシリーズ	15	31
アルプス印 鉄滑車	68	78



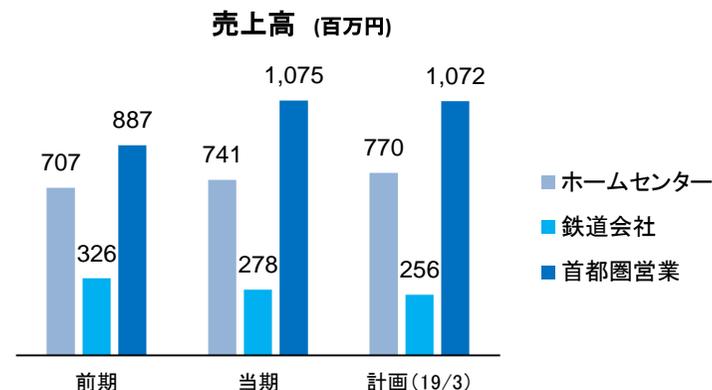
売り方の工夫

- アンカーボルトの納入だけでなく、**施工も実施**、販売領域を開拓
- 吊り具アドバイザー(社内認定資格)を設置、「吊り具」の専門性を高めることで、**サービスの差別化**を図る



販売ルートの開拓

- ホームセンターや鉄道会社など**新業種への事業拡大**
- **首都圏専任担当者を設置**し、集中購買に対応、受注を獲得



熊本地震および東日本大震災関連資材の売上高(単体)推移

(単位:百万円)

	売上高							
	東日本大震災					熊本地震		合計
	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	2017年3月期 通期	2018年3月期 通期	
ブレース	200	18	87	153	202	—	—	662
トラ網セット	126	—	—	—	—	—	—	126
コンテナバッグ	281	263	316	308	293	33	13	1,509
ブルーシート	152	153	203	254	266	46	0	1,076
土のう袋	52	51	79	108	146	6	0	443
その他	239	187	200	307	380	68	54	1,438
合計	1,053	674	887	1,132	1,288	154	68	5,258

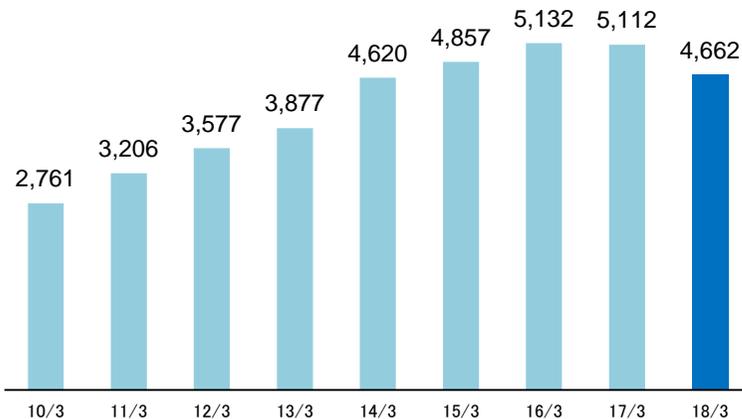
※2017年3月期より、熊本地震関連資材の売上高集計に切換え

がれき・除染土の収納されたコンテナバッグ仮置場の様子



異常気象(大雨など)関連資材の売上高(単体)推移

今後も大雨などによる被害が拡大する恐れがあるため、さらなる需要の伸びが予想されます。(単位:百万円)



建設資材4商材

ブルーシート・
土のう袋類



防災シート類



コンテナバッグ



ネット・
シート類



当社では、各営業拠点に震災や異常気象などの災害の現場で使用される資材を、在庫として備えております。
また、被災地域の早期復興を願い、インフラ整備にも注力してまいります。

- 2016年1月に長野営業所、2016年4月に熊本営業所、2017年4月に三和電材(株)愛北営業所を開設いたしました。
今後とも、お客様のニーズに迅速に対応すべく地域に密着した販売体制を整え、クイックデリバリーで顧客重視の経営を実現してまいります。

NEW 2017年7月にネット通販を模索するため、eコマースグループを新設、2018年4月に業容の拡大を図るため、岡山営業所を開設。

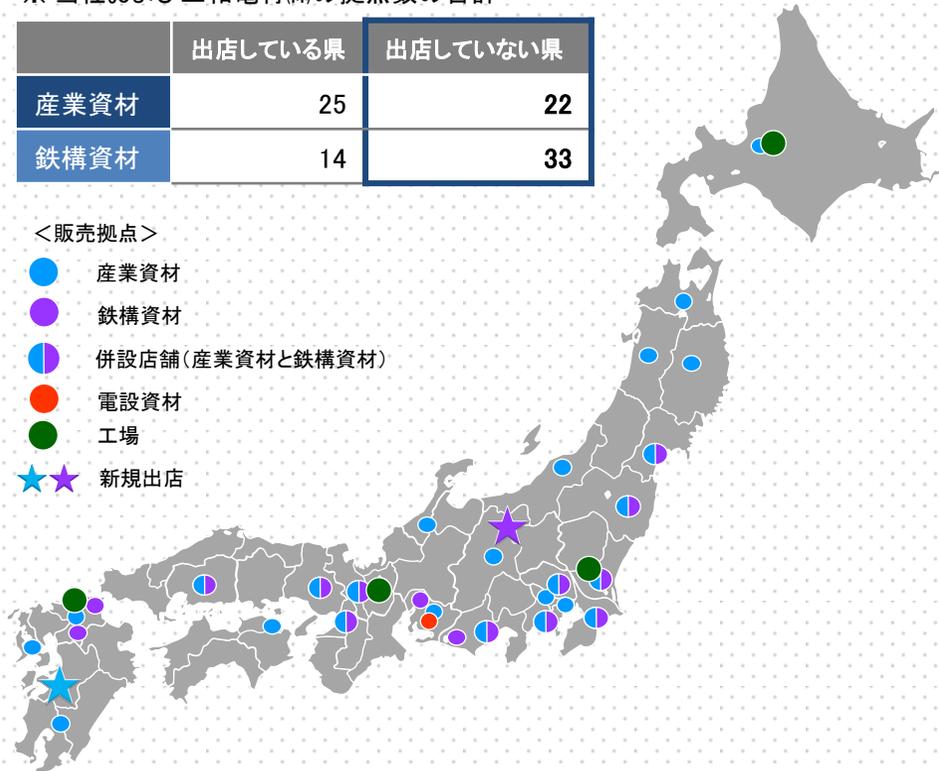
全61販売拠点へ拡大 (2018年3月末時点)

※ 当社および三和電材(株)の拠点数の合計

	出店している県	出店していない県
産業資材	25	22
鉄構資材	14	33

<販売拠点>

- 産業資材
- 鉄構資材
- 併設店舗(産業資材と鉄構資材)
- 電設資材
- 工場
- ★ ★ 新規出店



新規出店

2016年1月 長野営業所



2016年4月 熊本営業所



2018年4月 岡山営業所



2006年 秋田営業所
福島営業所

2011年 東日本大震災

2012年 東北営業所

2015年 盛岡営業所

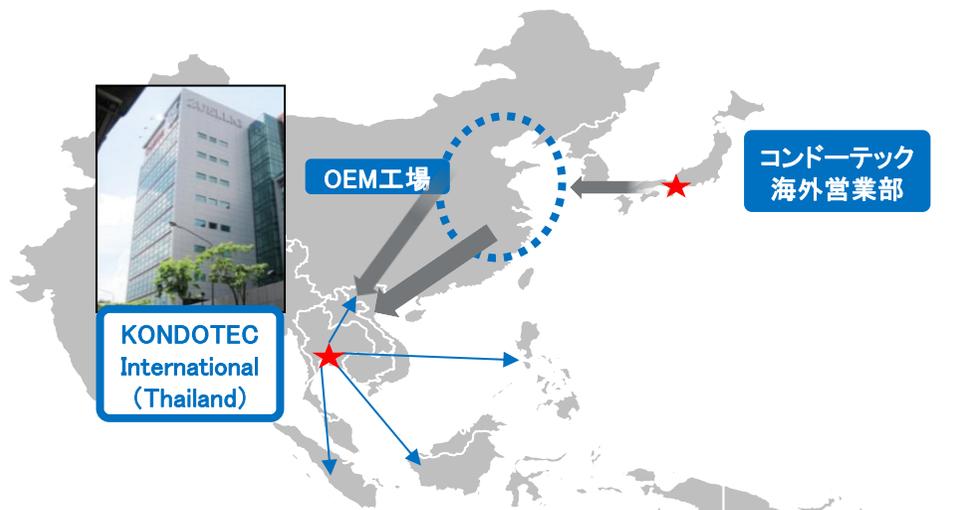
2017年 静岡営業所
<移転> 東海営業所

三和電材(株)
2017年 愛北営業所

タイ現地法人の設立・子会社化

- 経済発展が著しいタイ、インドネシア、ベトナムといったASEAN諸国との海外取引（建設資材等の新規需要への取り組み）を強化すべく、2012年11月、タイ現地法人を設立いたしました。
- 2014年8月、タイ現地法人の増資を行い増資後、共同出資会社2社より全所有株式を取得し、実質的に当社の完全子会社といたしました。事業拡大に向けた財務基盤の強化を図り、さらなる輸出強化の布石といたします。

タイ現地法人の会社概要



商号	KONDOTEK INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.	
本社所在地	タイ・バンコク市内	
事業内容	タイにおける産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入と現地国内販売	
資本金	102百万パーツ（約316百万円）	※4百万パーツから増資
設立年月日	2012年11月1日	

2018年3月期の状況

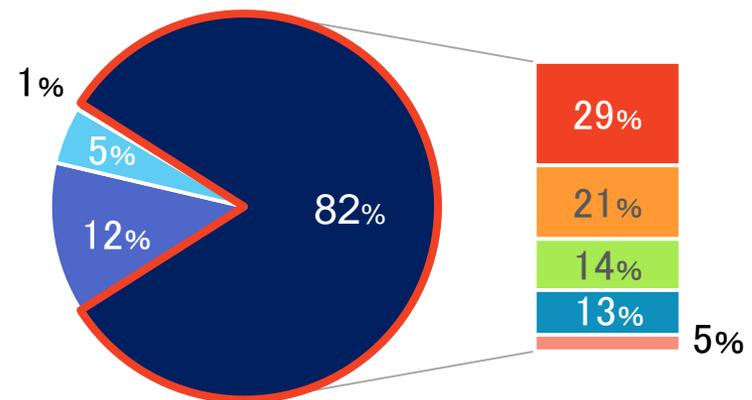
【海外売上高】

(単位:百万円)

	前期	当期	計画
海外営業部	78	50	64
タイ現地法人	206	233	302
合計	284	283	366

※グループ間取引金額は含まれておりません。

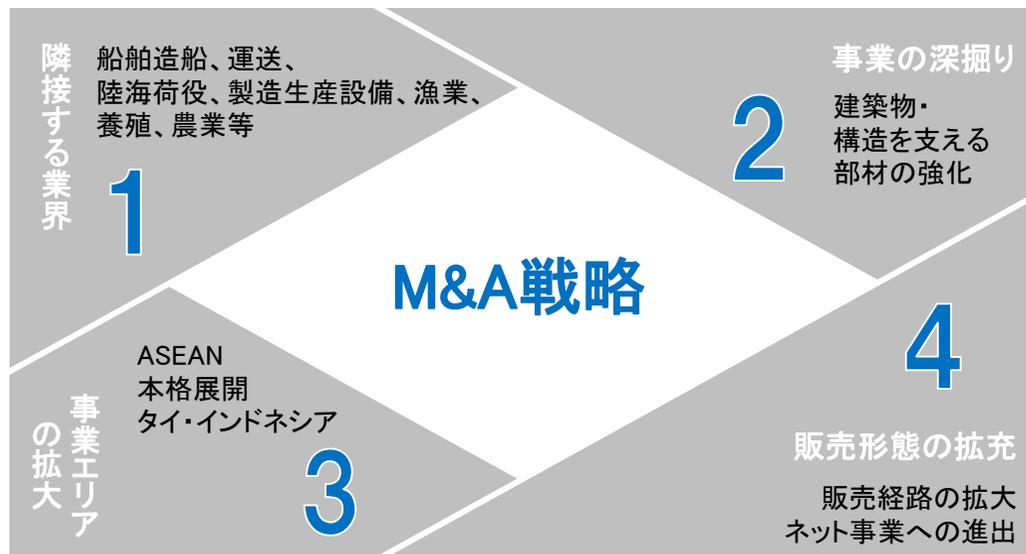
【国別海外売上比率】



■アセアン ■東アジア/中国 ■中近東 ■その他

■インドネシア ■タイ ■シンガポール ■ベトナム ■ミャンマー

M&Aにおける4つの視点



1. 隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる企業をM&Aし、事業の拡大を図る
実績：三和電材株式会社

3. 事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、販売フィールドを拡大する

2. 事業の深掘り

部材メーカー等をM&Aし、既存事業を深掘りする
実績：中央技研株式会社

4. 販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売といった既存事業とは異なる販売形態の企業をM&Aし、販売形態を拡充する

■ 2018年2月に エヌパット株式会社と業務資本提携契約締結

エヌパット株式会社は、「あと施工アンカーボルト」や「インサート」を中心とした建築用金物の開発、製造、販売を行っており、「N-PAT」のブランド名で顧客ニーズに合わせた豊富な品揃えを展開し、販売活動を行っております。
本提携を通じて、両社が持つ販売網による付加価値の高い製品の拡販と、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

<業務資本提携の内容>

業務提携	建築用金物の製造、販売における連携
資本提携	当社がエヌパット株式会社の発行済株式総数の5%を取得

<会社概要>

商号	エヌパット株式会社
所在地	大阪市港区
事業内容	建築用金物の製造販売業
資本金	100万円(2017年9月末時点)

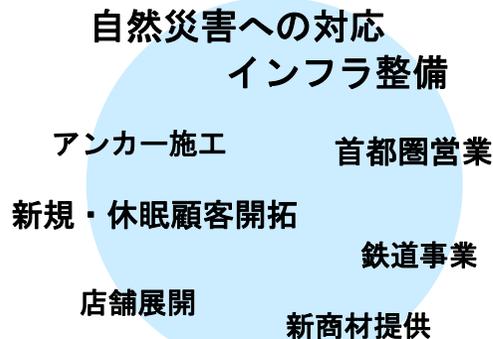
様々な成長戦略に着手し、2020年代中 **売上高 1,000億円** を目指す！

(単位：億円)

事業戦略室

- 2016年10月1日におきまして、既存コア事業の更なる拡大と建築資材以外の周辺業界への事業展開を推し進め、企業価値向上を実現するため、新たなステージとして取締役会直轄の事業戦略室を新設いたしました。
- 10年先、20年先を見据え、当社が将来にわたって持続的に発展し続けるために、新たな取り組みに踏み出し、展開を図ってまいります。

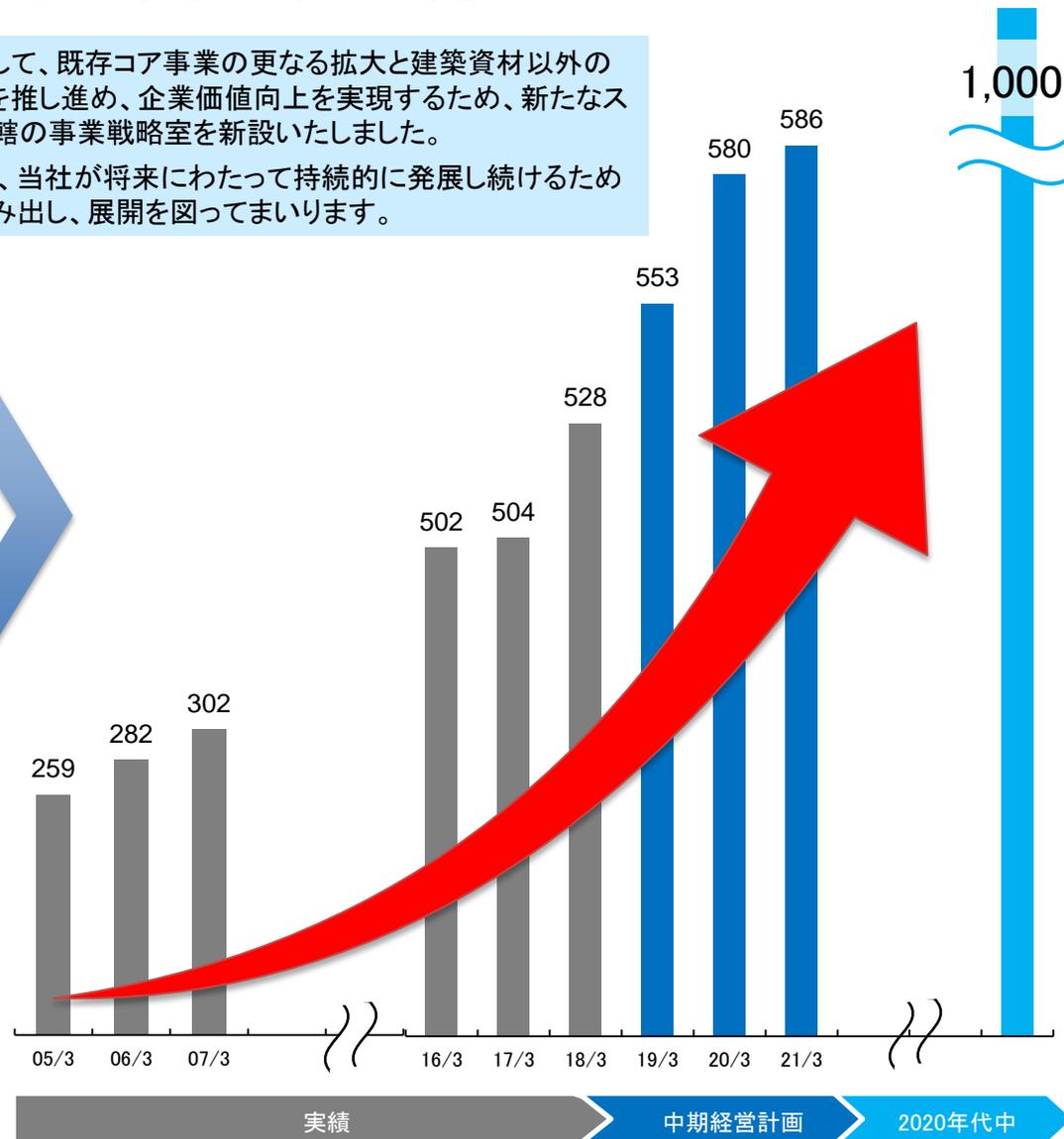
オーガニック成長



ノンコア事業成長

M & A

海外事業



7. 株主還元

- ROE10%以上、DOE2.5%以上を目標とし、**継続的・安定的な配当**を実現
- 保有株式数に応じて、お米券を年1回贈呈

※DOE…純資産配当率。株主の皆様への利益配分を示す配当性向と、資本効率を示すROEの2つの要素から構成される指標。

配当の推移

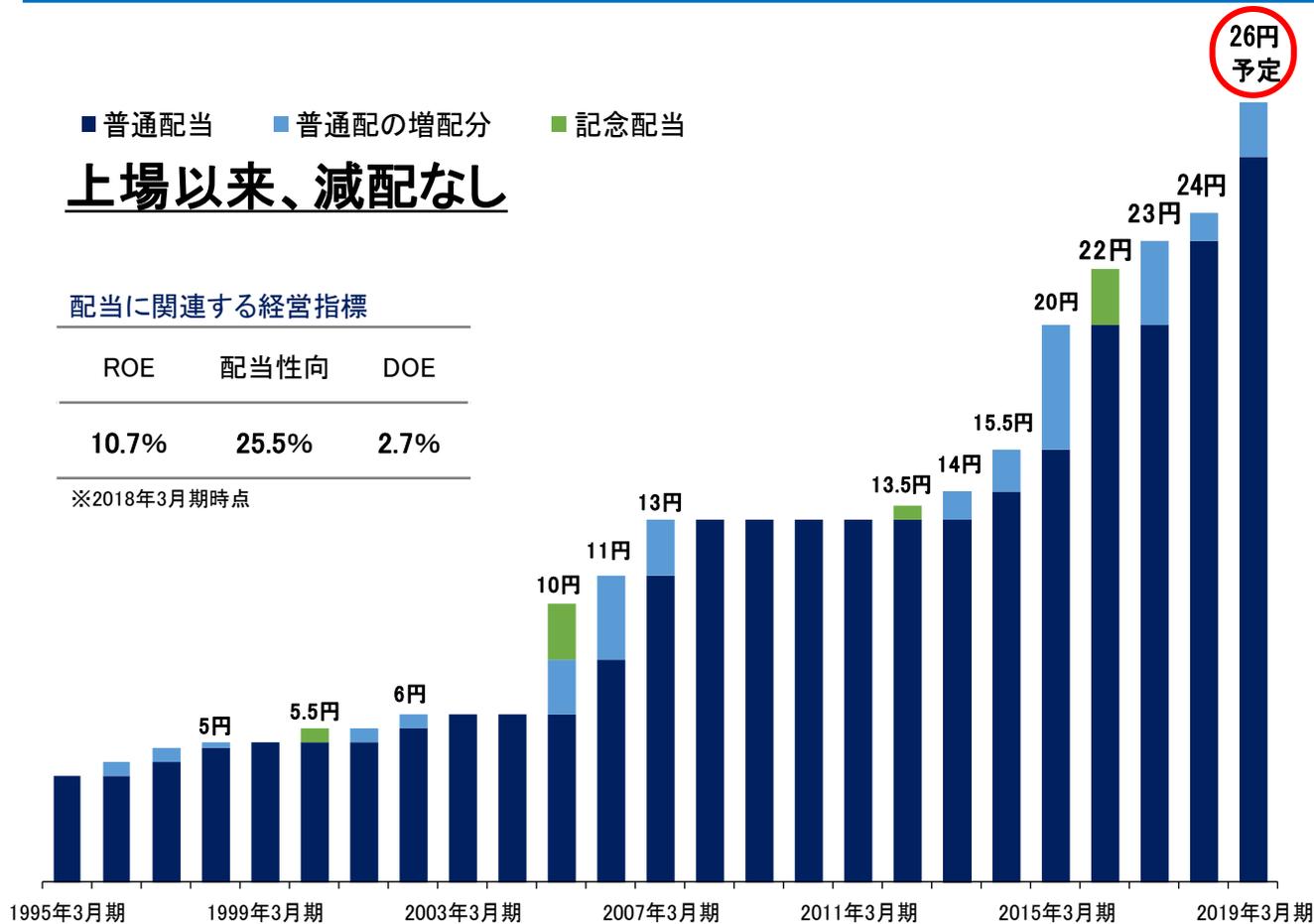
■ 普通配当 ■ 普通配の増配分 ■ 記念配当

上場以来、減配なし

配当に関連する経営指標

ROE	配当性向	DOE
10.7%	25.5%	2.7%

※2018年3月期時点



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

配当利回り

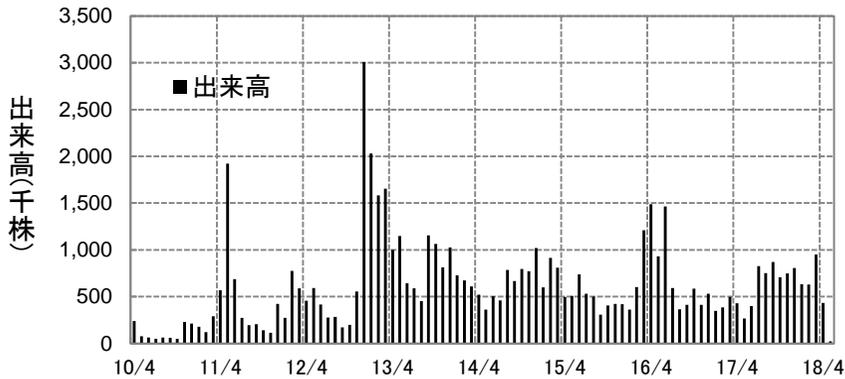
5月2日終値 **919円**

配当利回り	2.8%
優待込み配当利回り	~3.8%

株主優待

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	お米券2kg分
1,000株以上 10,000株未満	お米券5kg分
10,000株以上	お米券10kg分

※おこめ券1kg分は440円相当となっております。



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 これに伴い、株価、出来高は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の終値を表記しております。
 ※2012年12月に公募増資、第三者割当増資を行っております。

当社の上場企業におけるランキング順位

2018年3月30日終値 939円 上場企業3,713社中...

時価総額	純資産
1,678位	1,524位
経常利益額	当期純利益額
1,228位	1,214位
PBR	PER
2,204位	2,910位
ROE	
1,182位	

当社の時価総額は、26,300百万円

仮に当期純利益の順位が企業価値(時価総額)を表す物差しとすると、時価総額1,214位の時価総額は、48,500百万円。
 その場合当社株価は、1,732円となります。

※データはみずほ証券資料を参照。ランキングは、2018年3月30日時点のもの。

5月2日終値 919円
 PER: 9.4 PBR: 1.00

EPS: 98.14円(2019年3月期予想)
 BPS: 922.62円(2018年3月末)で計算



見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。
それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06 (6582) 8441 (代表) FAX : 06 (6582) 8410

ホームページ : <http://www.kondotec.co.jp>

E-mail : kikaku@kondotec.co.jp (総務部)